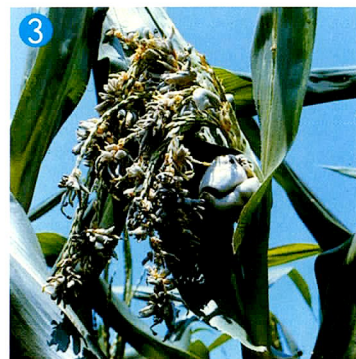
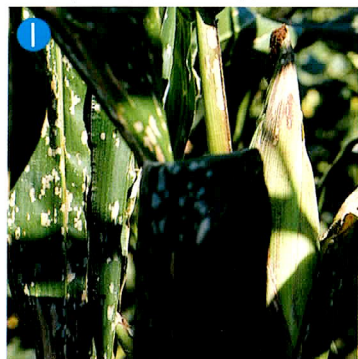


# 牧草と園藝



# F<sub>1</sub> トウモロコシの病害と対策

## 主要病害の病徴



## 主要病害と対策

No.	病害名	発生及び病徴	対策(耐病性品種名)
①	ごま葉枯病	府県で多発する葉の病害。楕円形のふ斑点。梅雨期と秋の雨期に多発生。	耐病性品種の採用(スノー2号、パイオニア1号)。
②	すす紋病	冷涼地で発生。葉に鉛色でレンズ形の大型病斑を生じ葉を枯らす。多雨あるいは低温時に多発。	耐病性品種の採用。 輪作。
③	黒穂病	近年全国的に多発。茎葉や穂に銀白色に包まれたコブが着生したのち、コブの中から黒い粉(胞子)が飛散し、翌年の発生源となる。	輪作。 耐病性品種の採用(スノー1・2号、パイオニア特2号)。
④	紋枯病	暖地で多発。葉鞘に紋状の枯死斑を生じたのちその上に菌核形成。密植、多肥、多湿条件で発生が多い。	除草、適正な栽植密度の遵守。 輪作。
⑤	黄化萎縮病 (クレージートップ)	ソウ菌類による病害。雄穂が変形したり雌穂の発達が阻害される。湿潤地や排水不良地に発生しやすい。	発芽から幼苗時の圃場排水。
⑥	すじ萎縮病	ヒメトビウカによって媒介されるウィルス病。草丈が伸びず、はなはだしい場合は雌穂が形成されない。	適切な播種期(5月下旬を避ける一府県の場合)。 除草。